

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

結果(症状緩和ケア)と原因(肌トラブルケア)の違い -カブレ(接触性皮膚炎)-

これは見立てや考え方の違いであり、どちらが正しいかの問題ではありません。

●見立ての違いについて

- 症状緩和ケアは結果『炎症や痒み』に焦点を合わせ、症状を軽減することを重視します。
- 肌トラブルケアは原因『皮膚バリアの修復』に焦点を合わせ、肌自らの力で持続的な快適さと健康を維持することをサポートします。
- 時間軸: 症状緩和ケアは短期的かつ即効的な効果を重視するのに対し、肌トラブルケアは長期的な効果を重視します。

●症状緩和ケア

- 目的: 接触性皮膚炎の症状を即効的に和らげ、肌の炎症を一時的に抑えること。
- 具体的アプローチ: 即効的に症状を緩和するために、炎症を抑える成分(グリチルリチン酸 2k、アラントイン、パンテノールなど)と保湿成分(グリセリン、ヒアルロン酸、セラミドなど)を併用する。一時的な効果を目指し、肌の不快感や炎症症状を迅速に緩和することが重視されます。

●肌トラブルケア

- 目的: 肌自らが丈夫な角質層を形成し、持続的な快適さと健康を維持する過程をサポートします。
- 具体的アプローチ: 皮膚バリアを修復・強化する製品(リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品)を使用し、肌自らが丈夫な角質層を形成し、持続的な快適さと健康を維持する過程をサポートします。
単にリノール酸を含む製品ではなく、水分とリノール酸含有の油分が合成界面活性剤不使用でエマルジョン状態にある製品を使用することが非常に重要です。保湿が欲しいときには、保湿成分(グリセリン、ヒアルロン酸、セラミドなど)も併用し、その使用量は微量にとどめます。